令和3年度　導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）				
			算定根拠	現状値・目標値の①の値の単位	現状値・目標値の②の値の単位	現状値・目標値の③の値の単位	現状値目標値の単位
酪農	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（生乳）	kg/年（1頭あたり年間産乳量）	頭（搾乳牛頭数）	円/kg（単価）	円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（生乳）	kg/年（1頭あたり年間産乳量）	頭（搾乳牛頭数）	円/kg（単価）	円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（生乳）	kg/年（1頭あたり年間産乳量）	頭（搾乳牛頭数）	円/kg（単価）	円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（生乳）	kg/年（1頭あたり年間産乳量）	頭（搾乳牛頭数）	円/kg（単価）	円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥）	t/年（年間販売量）	円/t（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	円/年（年間販売額）			円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加	預託頭数	頭/年（年間預託頭数）	円/頭（預託料）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	8 １頭当たり乳量の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（生乳）	kg/年（1頭あたり年間産乳量）	頭（搾乳牛頭数）	円/kg（単価）	円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	9 乳質改善による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（生乳）	kg/年（1頭あたり年間産乳量）	頭（搾乳牛頭数）	円/kg（単価）	円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円
	21 搾乳作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	22 新規就農	※1					

機械装置の区分（○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分です）

導入の必要性	1 飼料給与関係機械装置	2 畜舎温度制御機械装置	3 省エネ・電力安定供給のための機械装置	4 家畜飼養管理機械装置	5 搾乳関係機械装置	6 衛生管理高度化機械装置	7 畜産物管理・加工機械装置	8 飼料播種・追播用機械装置	9 飼料収穫・調製用機械装置	10 その他飼料生産関係機械装置	11 スマート農業関連機械装置	12 草地等管理用機械装置	13 飼料調製用機械装置	14 飼料用米調製用機械装置	15 放牧関連機械装置	16 飼料保管装置	17 エコフィード調製・給与関係装置	18 堆肥調製散布関係機械装置	19 その他（知事特認関係）
1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 受胎率の向上による出荷数量の増	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 事故率の低減による出荷数量の増	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 堆肥販売額の増																		○	○
6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増							○												○
7 預託頭数の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 １頭当たり乳量の増加による出荷数量の増	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9 乳質改善による販売額の増	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10 給餌作業の省力化	○																		○
11 哺乳管理の省力化	○			○															○
12 繁殖管理の省力化				○															○
13 ふん尿処理の省力化																		○	○
14 温度制御による畜舎環境の改善		○	○								○								○
15 省エネ			○																○
16 衛生管理の高度化						○													○
17 自給飼料の生産・利用拡大								○	○	○	○	○	○	○		○			○
18 自給飼料の生産・利用の省力化								○	○	○	○	○	○	○		○			○
19 放牧頭数・面積の拡大															○				○
20 エコフィードの利用拡大			○														○		○
21 搾乳作業の省力化			○		○														○
22 新規就農	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年度　導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）				
			算定根拠	現状値・目標値の①の値の単位	現状値・目標値の②の値の単位	現状値・目標値の③の値の単位	現状値目標値の単位
肉用牛（肥育）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥）	t/年（年間販売量）	円/t（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	円/年（年間販売額）			円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加	預託頭数	頭/年（年間預託頭数）	円/頭（預託料）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	8 肉質向上による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円
	22 新規就農	※1					
肉用牛（一貫）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥）	t/年（年間販売量）	円/t（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	円/年（年間販売額）			円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加	預託頭数	頭/年（年間預託頭数）	円/頭（預託料）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	8 肉質向上による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円
	22 新規就農	※1					

機械装置の区分（○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分です）

飼養区分	導入の必要性	1 飼料給与関係機械装置	2 畜舎温度制御機械装置	3 省エネ・電力安定供給のための機械装置	4 家畜飼養管理機械装置	5 搾乳関係機械装置	6 衛生管理高度化機械装置	7 畜産物管理・加工機械装置	8 飼料播種・追播用機械装置	9 飼料収穫・調製用機械装置	10 その他飼料生産関係機械装置	11 スマート農業関連機械装置	12 草地等管理用機械装置	13 飼料調製用機械装置	14 飼料用米調製用機械装置	15 放牧関連機械装置	16 飼料保管装置	17 エコフィード調製・給与関係装置	18 堆肥調製散布関係機械装置	19 その他（知事特認関係）
肉用牛（肥育）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 堆肥販売額の増																		○	○
	6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増							○												○
	7 預託頭数の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 肉質向上による販売額の増	○	○	○										○	○					○
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	○	○	○										○	○					○
	10 給餌作業の省力化	○																		○
	11 哺乳管理の省力化	○			○															○
	12 繁殖管理の省力化				○															○
	13 ふん尿処理の省力化																		○	○
	14 温度制御による畜舎環境の改善		○	○								○								○
	15 省エネ			○																○
	16 衛生管理の高度化						○													○
	17 自給飼料の生産・利用拡大								○	○	○	○	○	○	○		○			○
	18 自給飼料の生産・利用の省力化								○	○	○	○	○	○	○		○			○
	19 放牧頭数・面積の拡大															○				○
	20 エコフィードの利用拡大			○														○		○
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大										○									○
	22 新規就農	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
肉用牛（一貫）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 堆肥販売額の増																		○	○
	6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増							○												○
	7 預託頭数の増	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 肉質向上による販売額の増	○	○	○										○	○					○
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	○	○	○										○	○					○
	10 給餌作業の省力化	○																		○
	11 哺乳管理の省力化	○			○															○
	12 繁殖管理の省力化				○															○
	13 ふん尿処理の省力化																		○	○
	14 温度制御による畜舎環境の改善		○	○								○								○
	15 省エネ			○																○
	16 衛生管理の高度化						○													○
	17 自給飼料の生産・利用拡大								○	○	○	○	○	○	○		○			○
	18 自給飼料の生産・利用の省力化								○	○	○	○	○	○	○		○			○
	19 放牧頭数・面積の拡大															○				○
	20 エコフィードの利用拡大			○														○		○
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大										○									○
	22 新規就農	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年度　導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					機械装置の区分（○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分です）																
			算定根拠	現状値・目標値の①の値の単位	現状値・目標値の②の値の単位	現状値・目標値の③の値の単位	現状値目標値の単位	1 飼料給与関係機械装置	2 畜舎温度制御機械装置	3 省エネ・電力安定供給のための機械装置	4 家畜飼養管理機械装置	5 搾乳関係機械装置	6 衛生管理高度化機械装置	7 畜産物管理・加工機械装置	8 飼料播種・追播用機械装置	9 飼料収穫・調製用機械装置	10 その他飼料生産関係機械装置	11 スマート農業関連機械装置	12 草地等管理用機械装置	13 飼料調製用機械装置	14 飼料用米調製用機械装置	15 放牧関連機械装置	16 飼料保管装置	17 エコフィード調製・給与関係装置	18 堆肥調製散布関係機械装置	19 その他（知事特認関係）
肉用牛（繁殖）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥）	t/年（年間販売量）	円/t（販売単価）		円																		○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	円/年（年間販売額）			円							○												○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加	預託頭数	頭/年（年間預託頭数）	円/頭（預託料）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	8 肉質向上による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○										○	○					○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○										○	○					○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○																		○
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○			○															○
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円				○															○
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円																		○	○
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円		○	○								○								○
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○																○
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円						○													○
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円								○	○	○	○	○	○	○	○				○
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円								○	○	○	○	○	○	○	○				○
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円															○				○
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○														○		○
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円										○									○
	22 新規就農	※1						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年度　導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					機械装置の区分（○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分です）																		
			算定根拠	現状値・目標値の①の値の単位	現状値・目標値の②の値の単位	現状値・目標値の③の値の単位	現状値目標値の単位	1 飼料給与関係機械装置	2 畜舎温度制御機械装置	3 省エネ・電力安定供給のための機械装置	4 家畜飼養管理機械装置	5 搾乳関係機械装置	6 衛生管理高度化機械装置	7 畜産物管理・加工機械装置	8 飼料播種・追播用機械装置	9 飼料収穫・調製用機械装置	10 その他飼料生産関係機械装置	11 スマート農業関連機械装置	12 草地等管理用機械装置	13 飼料調製用機械装置	14 飼料用米調製用機械装置	15 放牧関連機械装置	16 飼料保管装置	17 エコフィード調製・給与関係装置	18 堆肥調製散布関係機械装置	19 その他（知事特認関係）
養豚	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥）	t/年（年間販売量）	円/t（販売単価）		円																		○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	円/年（年間販売額）			円							○												○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加	預託頭数	頭/年（年間預託頭数）	円/頭（預託料）		円		○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	8 母豚１頭当たりの出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○					○						○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○																		○
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○			○															○
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円				○															○
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円																		○	○
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円		○	○																○
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○																○
	15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円						○													○
	16 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円								○	○	○	○	○	○	○		○			○
	17 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円								○	○	○	○	○	○	○		○			○
	18 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円															○				○
	19 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○														○		○
	20 新規就農	※1						○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年度　導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					機械装置の区分（○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分です）																		
			算定根拠	現状値・目標値の①の値の単位	現状値・目標値の②の値の単位	現状値・目標値の③の値の単位	現状値目標値の単位	1 飼料給与関係機械装置	2 畜舎温度制御機械装置	3 省エネ・電力安定供給のための機械装置	4 家畜飼養管理機械装置	5 搾乳関係機械装置	6 衛生管理高度化機械装置	7 畜産物管理・加工機械装置	8 飼料播種・追播用機械装置	9 飼料収穫・調製用機械装置	10 その他飼料生産関係機械装置	11 スマート農業関連機械装置	12 草地等管理用機械装置	13 飼料調製用機械装置	14 飼料用米調製用機械装置	15 放牧関連機械装置	16 飼料保管装置	17 エコフィード調製・給与関係装置	18 堆肥調製散布関係機械装置	19 その他（知事特認関係）
採卵鶏	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵）	kg/年（年間販売量）	円/kg（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵）	kg/年（年間販売量）	円/kg（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵）	kg/年（年間販売量）	円/kg（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵）	kg/年（年間販売量）	円/kg（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥）	t/年（年間販売量）	円/t（販売単価）		円																		○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	円/年（年間販売額）			円							○												○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	7 採卵率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵）	kg/年（年間販売量）	円/kg（販売単価）		円	○	○	○	○		○													○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	8 死廃率の低下	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵）	kg/年（年間販売量）	円/kg（販売単価）		円		○	○			○													○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○																		○
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○			○															○
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円				○															○
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円																		○	○
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円		○	○								○								○
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○																○
	15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円						○													○
	16 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円														○					○
	17 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円														○					○
	18 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○														○		○
	19 集卵作業の効率化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円			○				○												○
	20 検卵・選卵作業の効率化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円			○				○												○
	21 新規就農	※1						○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブロイラー	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏）	羽/年（出荷羽数）	円/100羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏）	羽/年（出荷羽数）	円/100羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏）	羽/年（出荷羽数）	円/100羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏）	羽/年（出荷羽数）	円/100羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥）	t/年（年間販売量）	円/t（販売単価）		円																		○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	6 ６次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	円/年（年間販売額）			円							○												○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	7 育成率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉鶏）	羽/年（出荷羽数）	円/100羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○													○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	8 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○																		○
	9 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○			○															○
	10 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円				○															○
	11 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円																		○	○
	12 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円		○	○								○								○
	13 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○																○
	14 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円						○													○
	15 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円														○					○
	16 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円														○					○
	17 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○														○		○
	18 新規就農	※1						○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年度　導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					機械装置の区分（○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分です）																	
			算定根拠	現状値・目標値の①の値の単位	現状値・目標値の②の値の単位	現状値・目標値の③の値の単位	現状値目標値の単位	1 飼料給与関係機械装置	2 畜舎温度制御機械装置	3 省エネ・電力安定供給のための機械装置	4 家畜飼養管理機械装置	5 搾乳関係機械装置	6 衛生管理高度化機械装置	7 畜産物管理・加工機械装置	8 飼料播種・追播用機械装置	9 飼料収穫・調製用機械装置	10 その他飼料生産関係機械装置	11 スマート農業関連機械装置	12 草地等管理用機械装置	13 飼料調製用機械装置	14 飼料用米調製用機械装置	15 放牧関連機械装置	16 飼料保管装置	17 エコフィード調製・給与関係装置	18 堆肥調製散布関係機械装置	19 その他（知事特認関係）
その他家畜（やぎ、めん羊、馬）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量（肉）の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉用）	頭/年（出荷頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	2 飼養頭羽数の増加による出荷数量（乳）の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（生乳）	kg/年（1頭あたり年間産乳量）	頭（搾乳羊頭数）	円/kg（単価）	円	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	3 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量	頭/年	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	4 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量	頭/年	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	5 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量	頭/年	円/頭（販売単価）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	6 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥）	t/年（年間販売量）	円/t（販売単価）		円																		○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	7 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	円/年（年間販売額）			円							○												○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	8 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加	預託頭数	頭/年（年間預託頭数）	円/頭（預託料）		円		○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）			円																			
	9 肉質向上による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉用）	頭/年（出荷頭数）	円/頭（販売単価）		円	○	○	○										○	○					○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）			円																			
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○		○																○
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○			○															○
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円				○															○
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円																		○	○
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円		○	○								○								○
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○																○
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円						○													○
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円								○	○			○	○	○		○			○
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円								○	○			○	○	○		○			○
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円															○				○
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○														○		○
	21 新規就農	※1						○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他家畜（合鴨、うずら）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量	羽/年（出荷羽数）	円/羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量	羽/年（出荷羽数）	円/羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量	羽/年（出荷羽数）	円/羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量	羽/年（出荷羽数）	円/羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売量（堆肥）	t/年（年間販売量）	円/t（販売単価）		円																		○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	円/年（年間販売額）			円							○												○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	7 育成率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加	出荷数量	羽/年（出荷羽数）	円/羽（販売価格）		円	○	○	○	○		○													○
		農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	農業所得・営業利益	円（農業所得・営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円																			
	8 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○		○																○
	9 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○			○															○
	10 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円				○															○
	11 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円																		○	○
	12 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円		○	○								○								○
	13 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			円			○																○
	14 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			円						○													○
	15 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		円														○					○
	16 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円														○					○
	17 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			円			○														○		○
	18 新規就農	※1						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年度　導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					機械装置の区分（○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分です）																		
			算定根拠	現状値・目標値の①の値の単位	現状値・目標値の②の値の単位	現状値・目標値の③の値の単位	現状値目標値の単位	1 飼料給与関係機械装置	2 畜舎温度制御機械装置	3 省エネ・電力安定供給のための機械装置	4 家畜飼養管理機械装置	5 搾乳関係機械装置	6 衛生管理高度化機械装置	7 畜産物管理・加工機械装置	8 飼料播種・追播用機械装置	9 飼料収穫・調製用機械装置	10 その他飼料生産関係機械装置	11 スマート農業関連機械装置	12 草地等管理用機械装置	13 飼料調製用機械装置	14 飼料用米調製用機械装置	15 放牧関連機械装置	16 飼料保管装置	17 エコフィード調製・給与関係装置	18 堆肥調製散布関係機械装置	19 その他（知事特認関係）
飼料受託等	1　飼料生産受託面積・飼料生産作業面積の拡大	販売額の5%増	自給飼料販売量（自給飼料）	kg/年（販売量）	円/kg（販売単価）		円								○	○		○	○	○	○		○		○	○
		受託料収入の5%増	受託料（飼料生産）	円/年（受託料）			円								○	○										○
		生産コストの5%減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円								○	○		○	○	○	○		○		○	○
		自給飼料収穫量の5%増	自給飼料収穫量	t/年（収穫量）			t								○	○		○	○	○	○		○		○	○
	2　TMR生産量の増加	販売額の5%増	TMR販売数量	kg/年（販売量）	円/kg（販売単価）		円			○										○	○		○	○		○
		営業利益の5%の増加	営業利益	円（営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		円			○										○	○		○	○		○
		生産コストの5%減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円			○										○	○		○	○		○
		自給飼料利用量の5%増	自給飼料利用量	t/年（利用量）			t			○										○	○		○	○		○

※1　導入の必要性が「新規就農」の場合

・導入の必要性が「新規就農」の場合、成果目標は他の導入の必要性で示されている「成果目標」「算定根拠」から設定したいものを選択してください

・新規就農を選択した場合、「現状値」には「0」が自動的に入力され、「増加（削減）率」欄には自動的に「皆増」が入力されます